

ニューズレター No.55

日本リメディアル教育学会(JADE)

<http://www.jade-web.org/> 発行人 穂屋下 茂

2012(平成24)年5月7日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.55をお届けいたします。今回は、第8回全国大会と総会の開催およびその関連事項に関するお知らせです。

第8回全国大会についてのお知らせ

8月27日から29日の日程で、立命館大学において第8回全国大会および総会を開催いたします。詳細につきましては、大会ホームページおよび実行委員会から郵送される開催案内をご覧ください。

会期と会場:

2012年8月27日(月)～29日(水)

日本リメディアル教育学会全国大会

立命館大学 衣笠キャンパス「以学館」

http://www.ritsumeijp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html

大会ホームページ:

<http://www.jade-web.org/jade/conference/conference.html>

重要な期日:(変更が生じた場合は大会ホームページでお知らせします)

5月7日(月):大会ホームページにて、一般研究発表申込、参加申込(全国大会・情報交換会)を開始

6月16日(土):一般研究発表申込期限、企業展示申込期限、予稿集広告掲載申込期限

6月23日(土):一般研究発表審査結果通知期限

7月10日(火):一般研究発表予稿原稿提出期限

8月27日(月)～29日:全国大会開会、総会、特別講演、シンポジウム・ラウンドテーブル、一般研究発表他

8月28日(火) 情報交換会

プログラム概要:

8月27日(月): 午後

(12時受付開始)

(1) 特別講演:高橋 浩太郎氏(文部科学省)「学士力と単位の実質化」

(2) ICT活用教育部会企画:ラウンドテーブル:「単位の実質化とICT活用」

(3) 英語音読劇(英語部会企画)ワークショップ:「Readers Theatre 方式による英語学び直し授業のための読解と音声表現」

8月28日(火):午前

(4) 日本語部会企画:ラウンドテーブル:「自ら学び、社会に生きる人材となるための教育とは=親身とフシンセツ=」

(5) 学習支援部会企画:シンポジウム:「学習支援のための環境づくり」

(6) 「理数部会」は一般発表枠内で後日構成

8月28日(火):午後

(7) 記念講演:荒瀬 克己氏(京都市教育委員会 教育企画監、前京都市立堀川高等学校長)

「講演タイトルについては後日ホームページに掲載」

(8) 実行委員会企画:シンポジウム:「学習支援における教職協働の営み」

8月29日(水):午前

(9) コミュニケーション能力育成部会企画:シンポジウム:「コミュニケーション能力」の測定方法の開発と育成方法の展開

(10) ラウンドテーブル:「リメディアル教育を語り合う」

8月29日(水):午後

(11) 英語部会企画:シンポジウム:「英語リメディアル教育について私はこう考える」

(12) ラウンドテーブル:「教育広報のあり方を考える」

参加および一般研究発表の申し込み:

大会ホームページのそれぞれの申込フォームをご利用ください。

情報交換会:

日時:2012年8月28日(金) 18:00～20:00

実行委員会:

学会会長:穂屋下 茂

大会実行委員長:岡 毅

大会世話人:植松 茂男

学会事務局長:寺田 貢

実行委員:石毛 弓、岩崎 光伸、小野田 正之助、工藤

俊郎、児玉 英明、酒井 志延、杉森 直樹、長尾

佳代子、中園 篤典、浜畑 芳機、棕本 洋、村上

裕美、吉岡 路、吉沢 一也、竹内 芳衛、米満 潔

ファウンダー:小野 博

問い合わせ先:

日本リメディアル教育学会第8回全国大会事務局

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

京都産業大学 文化学部 植松 茂男

e-mail:jadeconf2012_at_gmail.com

(送信時には_at_を@に置き換えてください)

定時総会開催についてのお知らせ

日本リメディアル教育学会総会(平成23事業年度に関する定時総会)を以下の日程で開催いたします。会員の皆様はご出席ください。

日時:2012年8月28日(火) 11:40～12:00

議題:平成23事業年度の決算書類の承認、その他

(会長 穂屋下 茂)

英語部会からの提案

8月29日に開催される英語のシンポジウムでは意見を募集します

○シンポジウムの意図

英語のリメディアル教育は、今や大学での大きな問題となっている。しかし、これとって効果的な教育方法は開発されておらず、リメディアルの英語教育を担当する教員は日夜努力しているが、その努力は必ずしも報われているとは言いがたい。そこで、本シンポジウムでは、4名のシンポジストに自分が信じるリメディアル教育について、発表していただき、会員とともに深め、今後のリメディアル教育の発展に寄与することを目的とする。

○シンポジウムの内容:

1. 「楽しいからもっと学びたい英語リメディアル教育—教師の授業デザイン力で学生が変わる—」
2. 「英語コミュニケーション、楽しいだけでよいのだろうか」
3. 「課題遂行と自己効力感を軸にした英語リメディアル教育—様々なアプローチによる授業デザインで“心のケア”—」
4. 「外部試験を利用した英語リメディアル教育—目標、成功、そして投資—」

このシンポジウムとシンポジストに意見や疑問がある人は、事前に shien_at_cuc.ac.jp (送信時には_at_を@に置き換えてください) までお願いします。適切と判断された意見や疑問はシンポジウムで紹介いたします。当日に、紙に書いて司会者に渡して下さっても、挙手で意見や疑問を述べられても結構です。

皆様と一緒にシンポジウムを盛り上げましょう。

(酒井志延)

ICT活用教育部会からのお知らせ

8月27日に開催されるICT活用教育部会企画のラウンドテーブルでは、文科省の高橋氏の特別講演を受けて、単位の実質化に関する議論を行う予定です。単位の実質化には、授業外の学習支援が重要な役割を担い、質の高い内容とする上でICT活用が有効とされています。

そこで、本ラウンドテーブルでは、事前に会員の皆様に、ICT活用と単位の実質化に関する実態調査を行わせて頂き、その内容を踏まえた議論を行いたいと考えております。後日、会員の皆様に、アンケート調査の依頼をさせて頂く予定でおります。

是非ともご協力の程よろしくお願い致します。

本件について何かご意見・ご要望がございましたら、以下までご連絡頂けますと幸いです。

千歳科学技術大学 小松川浩

hiroshi_at_photon.chitose.ac.jp

(送信時には_at_を@に置き換えてください)

英語部会企画のワークショップについて

8月27日に開催されるワークショップに参加ご希望の方は、氏名、所属、連絡用メールアドレスを8月20日までに、以下にお知らせください。折り返しご連絡します。先着20名。

南山大学短期大学部 浅野享三

kzasano_at_nanzan-u.ac.jp

(送信時には_at_を@に置き換えてください)

専門部会への登録について(ご案内)

専門部会は、どの部会でも、正会員が自由に登録できます。部会ごとにメンバーリストも用意されています。

<http://www.jade-web.org/jade/specialty/specialty.html>

興味のある部会等、幾つでも、登録してみてください。

部会への登録/解除は、随時、問合せフォームより申し込みください。

<http://www.jade-web.org/jade/inquires/inquires.html>

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

原稿執筆要項などの改変

原稿表紙、割付見本(執筆要項)などの投稿に必要なファイルが、2011年9月13日から変更されております。さらに、掲載に至らせる原稿内容を作成するための一助として、原稿執筆ガイドラインを用意いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

詳しくは、<http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html> をご覧ください。

【文責】寺田 貢